

審 議 経 過

No. 1

発言者	発言内容
中溝委員	<p>1 開会</p> <p>2 辞令書交付</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 関係機関からの現状報告</p> <p>(1) 青少年の非行の実態について</p> <p>今回非行の実態調査について話す、昨年中いじめに起因して刑法犯、暴行傷害等で取り扱ったことはなし。</p> <p>少年犯罪等の検挙状況について、令和 2 年から数字を入れているが、いずれの件数も激増している状況。令和 6 年度中、伊万里警察署管内で検挙した少年については、刑法犯、特別法犯、合わせて 32 名になる。括弧内の数字は女子。32 人中女子 9 名。前年より 23 人増加。</p> <p>不良少年と非行少年の違いについて、不良行為少年は少年補導と事件検挙の違い。不良行為少年 48 人、そのうち女子 24 人、前年同時期より 23 人増加という状況になっている。</p> <p>昨年春頃、伊万里駅周辺での迷惑行為、深夜徘徊多数発生した。市、中学校、高校等が連携しながら少年補導、迷惑行為に対して犯罪行為に該当する場合は、事件検挙し取り組んだ結果、検挙等の件数が増加したものの、おかげで落ち着きを取り戻していると感じている。</p> <p>次に非行少年の内訳について、罪種について記載している。窃盗罪が一番多い。続いて暴行、占有離脱物横領、その他となっている。</p> <p>占有離脱物横領とは、分かりやすく言うと自転車を誰かが盗み、乗り捨てた自転車をそのまま使用し盗っていくこと。自転車の鍵がかかっておらず、そのまま使用してしまうのは窃盗となり区別されている。</p> <p>その他は、名誉棄損と建造物侵入となり事件として検挙している。</p> <p>窃盗で一番多いのは万引きと自転車盗である。</p> <p>伊万里警察署管内で、自転車盗自体の発生件数は 22 件。今年は前年のプラス 18 件と激増している。</p> <p>令和 5 年中は自転車盗を警察署で認知した件数は 4 件だった。一気に</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 2

発言者	発言内容
中溝委員	<p>跳ね上がっている。そのほとんどが無施錠であった。</p> <p>伊万里警察署の対策として、夏休み中と前後に自転車盗が増加したことを受けて、9月の夏休み明けに自転車利用者が多い高校生に対する指導を行った。高校の生徒指導の先生方にお声がけをして、登校時間駅周辺場での施錠促進広報を行った。鍵がかかっていない状態で、立ち去ろうとしたり、そもそも、鍵がかかっていない自転車に乗って行こうとした子がいたので、声かけをして鍵を配布し鍵かけの指導を行った。</p> <p>その他昨年12月には、新人警察官がケーブルテレビに出演し、自転車盗の発生、鍵かけを行う旨の広報を行った。また各高校へ個別に回って闇バイトと、自転車の施錠促進の広報を行い自転車盗対策の取り組みをしている。自転車を盗んでいく年齢層は中高生がメインとなる。自転車盗に対して警察が力をいれて取り組んでいる姿勢を見せることで対策に繋がるかと思っている。</p> <p>次に不良行為少年の内訳について、種別については深夜徘徊が殆どである。粗暴行為については、通行人に対して石を投げつける青少年がいた。通報を受け現場に向かい逃走した3人を捕まえて補導した。石をぶつけるまでには至らなかったため補導の処理をした。</p> <p>突出している深夜徘徊について、昨年春頃の伊万里駅周辺治安悪化時に力を入れて補導等を実施した結果これだけの件数になった。同じ子が何件も補導され件数が伸びている。以上が、伊万里市警察署管内の少年非行の実態となります。</p> <p>あくまでも、伊万里市警察で検挙や補導を行った件数となっており氷山の一角である。</p> <p>最近インターネットの普及により、少年がSNSで顔も知らない、相手と知り合い、性被害に合う等の事件も発生している。</p> <p>先日、家出した娘が帰ってこないという届出を受けて探して発見した。SNSで知り合った他県の人と連絡を取り合い迎えに来てもらい、福岡に移動していた。他にも隣接しているため佐世保等が多い。幸いにも性被害や犯罪にはならなかった。</p> <p>SNSで顔も分からないのに若い子どもに接触してくる人物は、変な相手でしかない。</p> <p>一歩間違えれば被害に合っていた状況。3月に入れば進級進学と、子ども達も気持ちが不安定になる。そういった中SNSをすることも考え</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 4

発言者	発言内容
<p>学校教育課 前田</p>	<p>また、ネットパトロールで気になるものを学校に伝えている。</p> <p>2 いじめ対策</p> <p>アンケートを県様式で年2回実施しているが、それだけでは足りないということで、学校独自のアンケートを実施している。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、県と協力しながら相談時間数を増やしている。</p> <p>今年度は、児童生徒に一人一台タブレット端末を持っている。端末の中に「心の健康観察」アプリが導入されておち、今の気持ちを小学校低学年であれば天気、中学生になると表情を使って見やすく表していく。その様子が学校の職員が確認することができ、それを活用し声掛けをしている。子どもたちから嫌なことがあったら聞き出す体制をとっている。</p> <p>3 市いじめ防止対策緊急スクールカウンセラーの活用状況</p> <p>各学校にスクールカウンセラーを配置しているが、足りない場合は市独自でいじめ防止の緊急カウンセラーの枠を作っている。今年度は、11件相談があっている。</p> <p>例年はいじめに限定していたが、それ以外の案件も相談して良いとなっている。不登校で学校に居づらくなった子どものカウンセリングに活用している。</p> <p>4 不登校の状況</p> <p>小学校65件、中学校84件合計149件。小学校は増加、中学校は減少しており、全体的に減少傾向である。</p> <p>5 不登校対策</p> <p>いじめられて不登校になる場合もある。嫌な気持ちが続き登校できない場合もある。</p> <p>いじめと不登校の対策は共通部分もあるので、学校で相談できる体制としてスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの活用に取り組んでいる。</p> <p>教育支援センター「せいら」の状況については、令和5年度33名の入級者がいたが、現在は40名入級している。毎日ではないが日替わりでセンターに通っており、平均して10名程度活動している。家に留まることなく、外に出て活動し周囲と交流できればということで、各種イベントを実施している。</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

発言者	発言内容
<p>学校教育課 前田</p> <p>鈴木委員</p>	<p>パソコンの席もあり、W i - F i 環境も整ったので学校と繋いで授業を見ることも可能となった。</p> <p>「せいら」について学校では欠席扱いであるが、指導要録には出席として取り扱っているため、「せいら」への出席を促している。</p> <p>「せいら」は朝9時から開始のため、送迎ができない相談が出ている。来年度に向け強化を検討している。</p> <p>また、不登校対策として現在3校に別室登校で対応できる職員配置も進めている。少しでも子ども達が安心できる場所ができるよう対応している。</p> <p><質疑> 別室対応の3校は来年度ということだが、対象校を教えてください。</p>
<p>学校教育課 前田</p>	<p>来年度3校検討しているのは、「伊万里中学校、啓成中学校、南波多郷学館（不登校の受け入れを行っている）」につける予定。今後は少しずつ増やしていきたい。</p> <p>空き教室がない学校もある。教室等の余裕がある所に子ども達が安心できる場所として確保したい。</p>
<p>中嶋副会長</p>	<p>質問ではないが、自分は学童に協力している。子どもたちはすぐ喧嘩を始める。「事案の態様 その他」にあったように「にらむ」等はよくある。「学校の先生に伝えるぞ」というとすぐ止めるが、先生方の目の届かないところではよくあることだと思う。</p> <p>つい、大きな声で注意をすると子ども達は怒られたと感じ「子どもを怒ってはダメだ」と反論してくる。自身が小さい頃のように接してしまいそうになる。口では子どもに負けてしまう。子ども同士での口での攻撃もよくあることのように思われる。</p>
<p>学校教育課 前田</p>	<p>学童での案件も全てではないが、何件か認知はしている。子ども達から訴えがあれば、学校は聞き取りを行い対応している。</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

発言者	発言内容
事務局 大塚	<p>(3) 家庭児童相談室の相談状況について</p> <p>本日こども第三の居場所きらら協定書調印式が行われているため、担当者が不在となっております資料のみの提出となっております。</p> <p>こども第三の居場所きららは新規事業となっております。</p> <p>提出資料の概要のみ説明をさせていただきます。</p> <p>4ページから7ページまでが、こども家庭センター創設の背景及び概要、8ページがヤングケアラーに関する資料、9ページから11ページまでが児童虐待等に関する相談状況となっております。資料概要については以上です。</p>
松本会長	<p>時間を取りたいと思いますので、受け答えできる部分は限られてきますが、家庭児童相談室の資料について読み込んでください。</p>
鈴木委員	<p><質疑></p> <p>ヤングケアラーの資料がある、伊万里の子どもたちもヤングケアラーの子がいるのに驚いた。</p> <p>ヤングケアラーの子どもたちに対してのサポートや相談窓口、子どもたちが行きやすい積極的なアピールはあるのか。</p>
学校教育課 前田	<p>アンケートは無記名で行われているので特定はできないが、学校へ相談があれば学校からこども家庭センターに連絡を入れる。家の問題なので学校としてできる範囲が難しい。そこからスクールソーシャルワーカーに繋いで支援できることを考える。</p>
鈴木委員	<p>子どもたちは自分の家庭がどんな状況でも普通だと認識してしまうので心配。</p> <p>自身の家庭や家族関係が、中高生になるまでそれが普通だと思っていたが、テレビや友人の話を聞いて、「うちはちょっと違っていた」という気が付いた、という話を聞いた。子どもたちは小さい時ほど、特異な家庭だと思わない。学校の中でもそういった状況へのアプローチや差し伸べの言葉等を適宜していただければと思う。</p> <p>学校でもヤングケアラー等の部分は目に見えてこない部分である。研修が必要ということで、学校には県で行われている研修等に積極的に職員の派遣を依頼している。</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 7

発言者	発言内容
学校教育課 前田	また、こども家庭センターからチラシ等あれば配付を行って積極的に対応をしてもらうように依頼している。
松本会長	児童虐待に関する相談状況の経路について、学校からの気づきが多い、また家族親戚、保育所等の気づきが多い。ただ児童本人からという訴えは少ない。
鈴山委員	<p>（4）青少年相談室の相談状況について</p> <p>今年度は昨年度に比べて少々件数は少ない。今現在青少年相談室は、相談方法は電話が殆どである。</p> <p>今年度に限っては、深刻ないじめの相談はない。電話相談室なので顔が見え無いから話をするというメリットがある。よくよく訊くと殆どが県外からかかってくる。</p> <p>県外で誰かも分からないから話せているようだ。交友の「いじめ」について、実際いじめなのではないかという相談は。5件の内5月の1件。その他はとにかく電話をしたかったというだけで、担当者が問いかけると電話が切れてしまうことが多い。</p> <p>5月の1件については、「暴力を振るわれた、休み時間に呼び出された蹴られた」といった相談であった。詳しい状況や学校への相談を促してみると電話が切られてしまった。深刻ないじめの相談状況は無かったことを報告しておく。</p> <p>また相談者として地元の方がよく連絡をくれる。本人の人生相談が多い。また駅付近の青少年の深夜徘徊等、窃盗の報告が多い。この案件については、警察への相談や通報を促している。</p>
中溝委員	その当時通報は多かった。その方が通報していたかは分からない。
鈴山委員	<p>7～9月は頻繁に報告があった。青少年が危険に巻き込まれるのは良くない、駅前で騒ぎが起きていると危ないので報告をされている。</p> <p>その都度、警察への報告を促している。本人が仲裁をしようとする時もあるので、本人が被害者になる可能性もある為警察へ任せる旨も合わせて伝えている。</p> <p>相談員たちは退職教職者なので、過去いじめ不登校の子どもたちに関</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 8

発言者	発言内容
鈴山委員	<p>わった経験があるので受けた相談を関係部署へ繋げられていると思う。</p> <p><質疑なし></p> <p>7 意見交換</p>
古田委員	<p>伊万里駅周辺の住民として、春先になると子どもたちがウキウキしてくる。卒業から入学までの期間があるためか、以前、子どもたちが駅の駐車場の辺りで騒いでいるのを見つけた。一人殴られているのではないかとこののを友人が発見した。警察にも連絡をしたが、警察が到着した時には解散していた。</p> <p>また駐車場の停まっている車との間で座り込んでいる。死角になっており、子どもたちが座り込んでいて驚くことがあった。子ども達も挨拶をしてくるので挨拶を返すが、煙草の吸殻等が駐車場に落ちている。吸っている現場は見えないがどう対応してよいのか。またどこへ相談したらよいのか悩んでいる。以前は高校の先生が、パトロールなどをされて高校生の様子を尋ねに来ていた。</p> <p>子ども達は何もしていないので、警察に相談しても動けないと思われる、春先の期間伊万里駅周辺をパトロールしてもらっているとは思いますが、回数を増やしてもらおうなどしていただければと思う。</p> <p>日が長くなると、夕方子ども達（特に女子）座り込んでいることが多くなる。これからが多くなるのではないかと思う。事件性はないが、見回りの回数を増して頂ければと思う。</p>
中溝委員	<p>春先は進級進学のと時期で心の変化もあり、非行・不良行為に走ることがある。先日も署員に対して3月は春休みになるため、子ども達の非行・不良行為が多くなることも多いためしっかりパトロールをして、声掛けをするように指導している。</p> <p>実際伊万里駅周辺は、昨年荒れてしまった経緯があるのでそれも含めて、警邏の強化も含めて指示している。</p> <p>もし見かけた場合の対応は、まずは近づかない。ただ座って話している子どもも居れば、粗暴な子もいる。逆に食ってかかってくる場合もある。怖いと思えば少し離れた所で警察に通報してもらおう。</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 9

発言者	発言内容
中溝委員	<p>「子ども達が車との間に座って迷惑です」といった内容で通報があれば、「迷惑行為」として少年に対する健全育成として職務質問や声掛けができる。</p> <p>まさしく何かをしている等、殴り合ってる等している場合、通報を受けても逃げてしまっていることが多い。可能であれば、遠くから動画を撮って貰えれば記録として残せば警察からも注意喚起できる。</p> <p>子ども達は警察に対しても嘘をつく癖がある。実際いじめられて殴られていることもある。最近の流行の動画の真似やごっこ遊びをしている。本当はしたくないが、参加させられて、一人がずっと受け続けていることがあっているのかもしれない。</p> <p>通報があって、現場に到着しても事態が終わっており、殴られていた子も言いえない場合がある。記録として明らかに証拠があれば強く注意することも可能なので、本人に危険がない状況であれば、撮影をしてもらえれば助かる。</p> <p>現場を抑えられれば良いが、全て起こってない場合反論されるとそれ以上の注意はできないので、証拠保全の協力を頂ければありがたい。</p>
松本会長	<p>パトロールの件が出ましたが、青少年センターいかがでしょうか。</p>
事務局 大草	<p>月に1度、天候にもよるが定期巡回パトロールとあって、市内店舗を巡回しており、駅ビルも見回りをしている。同様に駅ビルでは警備員、市職員から駐車場で座り込んでいる子ども達や煙草の吸殻の報告を受けている。</p> <p>駅ビル内にある「YOTTOKO」というフリースペースができてから増加したと聞いている。現在、少中学生の利用が制限されているため、迷惑行為の件数は減少している。ただし高校生以上の対象者が居座っていることが多い。季節的なものか冬になってからは落ち着いている。</p>
松本会長	<p>中学校生徒指導連盟会長はいかがでしょう。</p>
坂本委員	<p>YOTTOKO周辺にある駐車場で、中学生等がたむろしている。</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 10

発言者	発言内容
坂本委員	<p>そこで爆竹を鳴らして喧嘩をして非常に迷惑をかけている。伊万里中学校については、毎朝生徒指導主事が学校から駅周辺まで行って登校指導をしている。ただ放課後については、部活動を持っていため、部活動の指導が終わったのちに行っている。毎日ではないが、日を見て周辺を巡視したり、生徒指導をしている。地域の各パトロール隊がある。2月は立花、3月は大坪とパトロールを順次してもらっている。</p> <p>伊万里駅の2階の連絡通路（ペDESTリアンデッキ）が最近は気になっている。YOTTOKOが不可なので2階に行こうとなっているのは。そこに子ども達が座り込んでいる場面を目にしたことがある。</p> <p>喫煙が増えてきた、本当に増えてきた。問題は一体どこから手に入れているのかということ。子どもから事情を聞き取った所、「店から買った」と言う、売っていいのか。店のモラルがどこまであるのか。その店に話を聞いたわけではないので、子どもは店で購入したとのことだった。その他にも家族に購入してもらったり、家族の所持品を盗ったりしている。明らかに市街地での喫煙が増えたと感じる。</p> <p>図書館や駅周辺で煙草を吸っている等情報があれば都度特定はできるので、学校では毎回指導している。名前が分かれば毎回、保護者にも同席してもらって指導している。</p> <p>自転車の乗り方について、しょっちゅうお叱りをもらう。2列～5列縦隊、二人乗り、ヘルメット未着用、対象者の名前が分かれば指導している。</p> <p>先程あったように乗ってるシーン動画を撮ってもらったが良いかと思う。子ども達はごまかそうとする。違うと嘘をつく。動画を撮ってもらって見せれば指導もスムーズにできる。そういったことをお願いできればと思う。</p> <p>通行人から朝の交通指導で声掛けがあり、二人乗りの目撃と注意した旨報告を受けた。中には、注意しても降りない子どもも居る。「写真を撮るぞ」といったところ慌てて降りたということもあったので、中には注意しても降りない子どもも居る。「写真を撮るぞ」といったところ慌てて降りたということもあったので、動画を撮るといのは対処方法となると思われる。</p> <p>中学生の住民へ対する暴言が多く年齢的にも強がる振りをするので、地域の方にも迷惑をかけている。子ども達は大人の怖さを知らない。</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 11

発言者	発言内容
坂本委員	<p>昔は強い指導もできたが、最近の学校では強い指導ができない。当然体罰はダメ。強く言う行き過ぎた指導になる。行き過ぎた指導と子どもから訴えられると先生はアウトなので呼び出して話をして繰り返しになる。命に関わることはひどく怒ったりはするが、それが常ではない。</p> <p>子ども達の中で、「法を守る」という意識が何となく希薄になっている気がする。基本的な「人に迷惑をかけてはいけない」「人の物を盗ってはいけない」という感覚が希薄になっていると感じる。</p> <p>当然「万引きはいけない」と子ども達はわかっている。入試の現場で、自身の消しゴムがなくなったから、隣の人の消しゴムをとって使用するという事案があり、問題行動等ない子どもが行っていた。その感覚は何なのだろうと思う。そこは幼少期からの教育だと思う。「人の物を盗ってはいけない」「人に迷惑をかけてはいけない」というところの欠如が最近顕著になったと感じる。</p> <p>先程、警察から話があった占有離脱物横領、いとも簡単にやっている。自転車についてもかなり指導はしたが、止めてある自転車を勝手に乗ってそして乗り捨てる。考えられないようだがそういった行為をしている。「人の物を盗ってはいけない」という教育が家庭内でしっかりされていない。そういった教育を学校でしている。学校でダメだと指導をするが、それでは遅いのではないか。</p> <p>家庭内で「人の物を盗ってはいけない」という機運を作るのが大事。基本的な教育の主体は家庭。家庭をどうしてくのか、ということを考えていかなければと思う。</p> <p>児童相談所に措置をしてもらった案件があった。虐待案件。スクールソーシャルワーカーやカウンセラーと相談をしながら動いた。</p> <p>動く中で、学校側も気が付かない事案も沢山ある。家庭内暴力もあり「子どもに死んでほしい、子どもに居て欲しくない」と言う家庭もある。さまざまな家庭がある。</p> <p>親から虐待を受けたという子どももいるし、親から見たら躰だということもあり加減が難しい。</p> <p>子どもと親と双方と話しながらやっているが学校としても難しい部分もある。家庭内の教育というのも何とか、「してはいけないこと」「ダメなこと」を幼少期から教育していくのが必要かと思う。</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 12

発言者	発言内容
松本会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>家庭教育と学校での心の教育も十分行っていないかなくてはと思います。色々な要因があつての問題がある。子ども達に寄り添う姿勢でいなくてはと思う。</p> <p>資料等の十分な説明ができていない部分もありますので、お持ち帰りいただき、目をとおしていただきたい。</p> <p>今後ともそれぞれの立場で協力をしていければと思う。</p> <p>7 閉会</p>

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。